

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月9日

上場取引所 大

上場会社名 IMV株式会社

コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡本 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長

(氏名) 桂井 徹

TEL 06-6478-2565

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	2,478	28.2	277	87.1	266	82.3	133	31.3
22年9月期第2四半期	1,934	△29.8	148	31.1	146	30.8	101	287.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	8.18	—
22年9月期第2四半期	6.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	7,067	2,354	33.3	144.05
22年9月期	7,078	2,249	31.8	137.62

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 2,354百万円 22年9月期 2,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	8.9	325	△22.1	300	△26.1	155	△56.5	9.48

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.6「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期2Q 16,957,016株 22年9月期 16,957,016株

② 期末自己株式数 23年9月期2Q 611,953株 22年9月期 611,953株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期2Q 16,345,063株 22年9月期2Q 16,345,582株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
【第2四半期連結累計期間】	9
【第2四半期連結会計期間】	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
生産、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による景気対策の効果もあり、個人消費や企業業績全般に改善が見られましたが、長期化する円高や欧米の景気減速懸念等により、先行きについては依然として不透明感が残り、設備投資についても一部に弱い動きが見られるようになりました。特に平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響が強く懸念されており、今後の不透明さが増しております。

このような環境の中、当社グループは、前連結会計年度までの緊縮政策から反転して成長のための諸施策を積極化させており、中国やASEAN地域への人員派遣や、成長分野であるリチウムイオン電池向け検査装置の開発強化等を実施いたしました。また、海外の各提携先との協力体制を強化させ提携製品の相互拡販に注力をすると共に、既存製品の分野においても無線型ポータブル振動計をリリースする等、新たな展開を推進いたしました。業績面につきましては、主要取引先である自動車関連業界を中心に受注は回復基調にあり、全ての品目において前年同四半期を上回る受注高、売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は2,478百万円となり、前年同四半期と比べ544百万円の増収(対前年同四半期比28.2%増)となりました。利益面では、テスト&ソリューションサービスの第2四半期連結累計期間の売上高が過去最高であった影響等から、前連結会計年度に縮小していた人材、設備、研究開発といった事業投資を再開させながらも、経常利益が266百万円となり、前年同四半期と比べ120百万円の増益(対前年同四半期比82.3%増)となりました。また、会計基準の変更に伴い資産除去債務を計上した影響等に加え、四半期純利益は133百万円となり前年同四半期と比べ31百万円の増益(対前年同四半期比31.3%増)となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、市場の拡大が期待される中国や東南アジアへ人員を派遣し、販売支援やマーケティングの強化を行いました。業績面では、主要取引先である自動車関連業界(リチウムイオン電池関連も含む)を中心に受注が回復し、「エコシェーカー」(省エネ型振動シミュレーションシステム)や、振動だけではなく温湿度といった他の環境因子と同時に試験が可能なオールウェザーシミュレーションシステムの売上も増加いたしました。

以上の結果、この品目の売上高は1,512百万円となり前年同四半期と比べ363百万円の増収(対前年同四半期比31.7%増)となりました。

(メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、前連結会計年度に業務提携契約を締結したGEエナジー製品の拡販も順調に進み、新規事業分野である電気試験装置関連のリチウムイオン電池向けの検査装置も販売に結び付ける事ができました。また、既存製品の分野においても、従来のポータブル振動計「カードバイプロNeo」を進化させ、業界初となる無線型ポータブル振動計「カードバイプロAir」をリリースいたしました。業績面では、市況の回復に伴い既存製品の売上が増加したことにより、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は539百万円となり前年同四半期と比べ108百万円の増収(対前年同四半期比25.3%増)となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、全拠点で好調に推移いたしました。大阪テストラボでは、大型の試験装置を中心に受託試験が増加し、同じく鉄道車両用機器向けの試験装置も堅調でした。また、東京テストラボや名古屋テストラボにおいても電気自動車関連の試験受託が増加したことにより、前年同四半期を上回ると同時に、第2四半期連結累計期間における過去最高の売上高という結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は427百万円となり前年同四半期と比べ72百万円の増収(対前年同四半期比20.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ11百万円減少し、7,067百万円となりました。流動資産では、前連結会計年度末と比べ246百万円増加し、4,109百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少125百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加254百万円、仕掛品の増加68百万円及び原材料の増加43百万円があったことによるものであります。固定資産では、前連結会計年度末と比べ257百万円減少し、2,957百万円となりました。この主な要因は旧名古屋営業所及び東京営業所の売却による有形固定資産の減少249百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ116百万円減少し、4,712百万円となりました。流動負債では、前連結会計年度末と比べ269百万円減少し、3,257百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の増加124百万円及び未払法人税等の増加46百万円があったものの、短期借入金の減少316百万円、1年内償還予定の社債の減少50百万円及び未払金の減少33百万円があったことによるものであります。固定負債では、前連結会計年度末と比べ153百万円増加し、1,455百万円となりました。この主な要因は長期借入金の増加86百万円、資産除去債務の増加30百万円及び繰延税金負債の増加47百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ105百万円増加し、2,354百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加101百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.5ポイント増加し33.3%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末の137円62銭に対し、144円05銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は予想を上回る利益となりましたが、当第3四半期連結会計期間以降は、研究開発活動の更なる強化や、設備、人材への投資等を予定しており、費用は増加する見込みであります。また、平成23年3月11日に起こった東日本大震災により、東日本地域における受注、販売が減少する可能性があることと、部材の調達に少なからず影響がでる可能性があることを考慮いたしまして、平成22年11月12日に公表いたしました平成22年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、第2四半期連結累計期間の営業利益684千円、経常利益755千円及び税金等調整前四半期純利益13,125千円が、それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は29,843千円であります。

(表示方法の変更)

(四半期連結計算書)

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益「雑収入」に含めて表示しておりました「セミナー収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。

なお、前第2四半期連結累計期間における「セミナー収入」の金額は、4,879千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,627	1,177,435
受取手形及び売掛金	2,056,993	1,802,081
有価証券	5,112	—
製品	18,924	16,857
仕掛品	587,248	519,075
原材料	252,620	209,118
繰延税金資産	105,163	99,330
その他	33,199	40,372
貸倒引当金	△1,400	△1,200
流動資産合計	4,109,489	3,863,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,018,036	1,054,590
土地	1,526,802	1,710,046
その他(純額)	170,946	200,642
有形固定資産合計	2,715,785	2,965,279
無形固定資産	38,559	50,542
投資その他の資産	203,316	199,812
固定資産合計	2,957,660	3,215,635
資産合計	7,067,150	7,078,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	966,024	841,843
短期借入金	1,237,866	1,554,300
1年内返済予定の長期借入金	670,100	668,384
1年内償還予定の社債	—	50,000
未払金	81,033	114,893
未払費用	145,831	174,797
未払法人税等	71,211	25,090
製品保証引当金	51,000	47,000
その他	34,332	50,949
流動負債合計	3,257,399	3,527,258
固定負債		
長期借入金	1,114,760	1,028,617
繰延税金負債	55,384	8,352
長期未払金	240,417	250,645
資産除去債務	30,112	—
その他	14,500	14,500
固定負債合計	1,455,174	1,302,114
負債合計	4,712,573	4,829,373

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	1,439,543	1,338,450
自己株式	△109,327	△109,327
株主資本合計	2,352,596	2,251,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,981	△2,170
評価・換算差額等合計	1,981	△2,170
純資産合計	2,354,577	2,249,332
負債純資産合計	7,067,150	7,078,706

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,934,008	2,478,883
売上原価	1,301,256	1,643,524
売上総利益	632,751	835,358
販売費及び一般管理費	484,565	558,106
営業利益	148,185	277,252
営業外収益		
受取利息	1,179	956
受取配当金	205	279
受取賃貸料	617	617
有価証券評価益	2,011	743
セミナー収入	—	3,491
助成金収入	12,010	2,693
雑収入	11,890	5,326
営業外収益合計	27,915	14,109
営業外費用		
支払利息	21,970	16,487
賃貸収入原価	372	318
雑損失	7,640	8,141
営業外費用合計	29,983	24,947
経常利益	146,117	266,414
特別利益		
固定資産売却益	—	222
保険解約返戻金	5,206	—
貸倒引当金戻入額	123	—
特別利益合計	5,330	222
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,370
投資有価証券評価損	2,996	5,173
固定資産売却損	—	4,630
固定資産除却損	55	151
減損損失	17,294	—
早期割増退職金	25,966	—
前期損益修正損	—	2,631
特別損失合計	46,312	24,958
税金等調整前四半期純利益	105,134	241,679
法人税、住民税及び事業税	3,908	68,642
法人税等調整額	△701	39,252
法人税等合計	3,206	107,895
四半期純利益	101,928	133,783

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,217,475	1,621,018
売上原価	791,120	1,022,335
売上総利益	426,355	598,682
販売費及び一般管理費	245,036	288,852
営業利益	181,318	309,830
営業外収益		
受取利息	615	776
受取配当金	93	109
有価証券評価益	2,228	—
受取賃貸料	308	308
助成金収入	7,675	1,279
雑収入	4,518	2,353
営業外収益合計	15,439	4,827
営業外費用		
支払利息	10,563	7,663
有価証券評価損	—	249
賃貸収入原価	186	159
雑損失	3,354	3,792
営業外費用合計	14,104	11,864
経常利益	182,652	302,793
特別利益		
貸倒引当金戻入額	23	—
特別利益合計	23	—
特別損失		
固定資産除却損	39	47
固定資産売却損	—	3,540
投資有価証券評価損	2,996	—
減損損失	17,294	—
特別損失合計	20,331	3,587
税金等調整前四半期純利益	162,345	299,205
法人税、住民税及び事業税	3,403	67,709
法人税等調整額	△2,760	48,032
法人税等合計	642	115,741
四半期純利益	161,702	183,463

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	105,134	241,679
減価償却費	124,713	101,110
のれん償却額	908	1,817
減損損失	17,294	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△314	200
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,000	4,000
受取利息及び受取配当金	△1,385	△1,236
受取賃貸料	△617	△617
支払利息	21,970	16,487
為替差損益(△は益)	△52	12
固定資産売却損益(△は益)	—	4,408
固定資産除却損	55	151
有価証券評価損益(△は益)	△2,011	△743
投資有価証券評価損益(△は益)	2,996	5,173
前期損益修正損益(△は益)	—	2,631
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,370
売上債権の増減額(△は増加)	38,355	△254,911
たな卸資産の増減額(△は増加)	61,557	△113,743
仕入債務の増減額(△は減少)	48,971	115,969
保険戻戻金	△5,206	—
その他	39,957	△84,551
小計	449,329	50,208
利息及び配当金の受取額	1,109	1,163
利息の支払額	△22,253	△16,032
法人税等の支払額	△1,282	△21,456
法人税等の還付額	71,766	735
営業活動によるキャッシュ・フロー	498,669	14,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△810	△834
有形固定資産の取得による支出	△18,084	△10,379
有形固定資産の売却による収入	—	189,707
無形固定資産の取得による支出	△775	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,588	—
保険積立金の解約による収入	12,330	—
定期預金の預入による支出	△6,178	△105,582
定期預金の払戻による収入	50,500	—
その他	△2,165	△7,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,227	65,682

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△165,452	△316,434
長期借入れによる収入	100,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△290,356	△762,141
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△155	—
配当金の支払額	△16,378	△32,578
その他	△1,025	△1,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423,367	△312,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	106,582	△231,891
現金及び現金同等物の期首残高	645,178	1,100,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	751,760	868,202

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成していません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	254,660	39,920	10,732	305,312
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,934,008
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.2	2.1	0.5	15.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア : 韓国、中国、台湾

(2)ヨーロッパ : ロシア

(3)その他の地域 : アメリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、セグメント情報は記載していません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		1,090,140	57.7	1,474,322	60.3	135.2
メジャリングシステム		442,709	23.4	540,368	22.1	122.1
テスト&ソリューションサービス		357,969	18.9	430,598	17.6	120.3
計		1,890,820	100.0	2,445,288	100.0	129.3

(受注高実績)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		1,375,483	63.3	1,622,210	60.7	117.9
メジャリングシステム		417,762	19.2	587,355	22.0	140.6
テスト&ソリューションサービス		378,856	17.5	464,218	17.3	122.5
計		2,172,103	100.0	2,673,785	100.0	123.1

(受注残実績)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		693,186	85.2	777,613	70.9	112.2
メジャリングシステム		75,042	9.2	257,604	23.5	343.3
テスト&ソリューションサービス		45,712	5.6	61,484	5.6	134.5
計		813,941	100.0	1,096,701	100.0	134.7

(販売実績)

品目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)		対前期比(%)
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム		1,148,621	59.3	1,512,519	61.0	131.7
メジャリングシステム		430,341	22.3	539,176	21.8	125.3
テスト&ソリューションサービス		355,046	18.4	427,187	17.2	120.3
計		1,934,008	100.0	2,478,883	100.0	128.2